

「代かき」は「浅水」で!

田んぼが凸凹。
毎年、雑草に困っている…。

肥料が流れでるともったいない。
環境への影響も心配だ…。

そんな方は、ぜひ!

あさみずしろ
「浅水代かき」をしましょう?



ポイントはこれだけ!

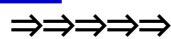
その名のとおり、湛水深をできるだけ浅くして行う代かきです。

代かき時の入水量の目安：田面に土が8割、水が2割程度見える状態

代かきまでにゆっくり水をため、しっかりと土を湿らせておくことで作業しやすくなります。



(代かき前の状態)



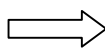
(代かき作業中)

~こんな効果があります!~

- ★稲わらや草を土中に埋め込みやすい
- ★田面が確認しやすく、均平が取りやすい
- ★水資源が有効活用に活用できる
- ★肥料成分や汚濁水の流出が防げる



除草効果拡大



環境への影響を軽減

~作業上の注意点~

- ★漏水の大半はあぜ際からです。ほ場の外周は丁寧に代かきをしましょう。
- ★代かき時に水が足りないようなら、少しずつ入水しながら作業しましょう。
- ★代かき後は落水せず、田植えまでは減水に応じて入水します。